

公益社団法人 日本農芸化学会関東支部 2016年度 第3回 支部例会

日時
平成28年 12月10日(土) 13:00より(12:20受付開始)

日本大学生物資源科学部 211講義室(2号館1階)
小田急江ノ島線 六会日大前駅より徒歩約5分

参加費: 無料(事前の参加登録の必要はありません)
懇親会: 参加費 1000円(一般), 500円(学生)



プログラム

13:00-13:05 開会の辞 西村敏英 支部長(日本獣医生命科学大学)

シンポジウム「腸管機能、食品・栄養研究の最前線」

13:05-13:35 日本大学 生物資源科学部 高橋恭子

「腸内共生系の恒常性維持と炎症反応の制御」

13:35-14:05 東京農工大学大学院 農学研究院 木村郁夫

「食と腸内細菌代謝産物による宿主エネルギー代謝制御」

受賞講演

14:05-14:35 【農芸化学技術賞】農研機構 食品研究部門 山本万里

「健康機能を有する緑茶「べにふうき」の効果、作用機序、茶葉特性の解明並びに
飲食品の開発」

14:35-15:05 【農芸化学技術賞】キッコーマン株式会社 研究開発本部 仲原丈晴

「醸造技術の革新による血圧降下ペプチド高含有醤油の開発」

15:05-15:20 休憩

15:20-15:50 【農芸化学技術賞】キリン株式会社 事業創造部 藤原大介

「ウイルス感染防御機能を持つ *Lactococcus lactis* JCM5805 の発見と事業応用」

15:50-16:20 【農芸化学奨励賞】農研機構 食品研究部門 大池秀明

「食品・栄養成分と生体概日リズムの相互作用に関する研究」

16:20-17:00 【日本農芸化学会賞】東京大学大学院 農学生命科学研究科 佐藤隆一郎

「コレステロール代謝制御の分子細胞生物学研究」

17:00-17:05 閉会の辞 浅見忠男 副支部長(東京大学大学院)

懇親会

17:15- 本館ガレリア階 スエヒロ

詳細は関東支部ホームページ (<http://www.jsbba-kanto.jp>) をご覧ください。

問い合わせ先: 日本大学 生物資源科学部 生命化学科 関 泰一郎 tseki@brs.nihon-u.ac.jp